



日本ポジティブ行動支援ネットワーク(APBS-J)企画シンポジウム

# 学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)の 実行を支える自治体レベルのシステム構築について考える



**日時** 2021年10月23日(土) 10:00~12:00

※10月16日より話題提供者の動画を配信し、10月23日当日は  
指定討論・参加者との質疑応答となります

**会場** オンライン会議システム「Zoom」

**参加費  
無料**

**話題提供** 10月16日よりオンデマンド配信予定

田中清章(徳島県教育委員会・特別支援教育課)

半田健(宮崎大学・APBS-J理事)・濱崎かおり(宮崎県教育庁・特別支援教育課)

家田志朗(大阪市教育委員会・教育政策課)

原田佳徳(倉敷市教育委員会・人権教育推進室)

**指定討論**

井上雅彦(鳥取大学・APBS-J理事)

平澤紀子(岐阜大学・APBS-J副会長)

**お申し込み**

※申込締切:10月22日(金)  
※どなたでもご参加頂けます

URL : <https://apbsjapan.org/?p=518>

※同日13:20~17:00に日本ポジティブ行動支援ネットワーク研修会(有料)も行います。こちらにもご参加頂く場合、研修会への参加申込みを別途して頂く必要がございます(詳細はAPBS-Jのホームページ参照)。



**企画趣旨**

学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)を普及させていくには、自治体レベルの様々な取組みが欠かせません。本シンポジウムでは、教育委員会と連携してSWPBSの導入が進められている先進地域の行政関係者・研究者から、自治体規模の取り組みとその成果・課題・今後の展望についてご発表頂き、SWPBSの実行を支える自治体レベルのシステムを我が国でどのように構築していけるかについて検討します。